

親子ふれあいミーティング開催事業

親と子が一堂に会して意見交換を行い、家庭のあり方を考えることにより、親子の相互理解を深めるとともに、地域全体で青少年を育む地域づくりを推進するため、団体に助成する。

- ・補助金 1団体15万円を限度
平成24年度事業実施団体(3団体)
- 1 鹿嶋市青少年育成市民会議
- 2 日立市青少年育成推進会議
- 3 青少年育成潮来市民会議

「青少年健全育成茨城県推進大会」の開催

子育て中の親や青少年育成関係者が一堂に会し、親や大人、家庭のあり方、そして子どもへの地域の関わり方について考えるとともに、青少年の健全育成に向けての理解と地域親の普及啓発を図るため、大会を開催する。

- 期日 平成25年2月7日(木)
- 場所 茨城県立県民文化センター(水戸市)

2 「あいさつ・声かけ」運動や「地域親」普及運動の推進

①地域の大人と子ども、大人同士、子ども同士のコミュニケーションを広げるきっかけづくりとして、平成16年度から「あいさつ・声かけ運動」を展開している。

- ・ポスターの作成配付
- ・「あいさつ・声かけ運動」
強調月間(11月)街頭キャンペーン
- ・「あいさつ・声かけ運動」
のぼり旗の共同作成



平成24年度ポスター

②「地域親」とは、青少年の育ちに関心を持ち、自分のできることを通して青少年と関わり、交流している地域の大人のことである。

平成15年度から「地域親」の普及運動にとりくんでいる。

- ・地域親の登録と地域で行われる行事や研修会への派遣事業

3 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進

家庭は、家族の温かい人間関係を通じて、子どもたちが基本的な規範意識や生活習慣を学ぶ人間関係の場として極めて重要である。ふれあいのある家庭づくりのために「家庭の日」運動を推進している。

- ・「家庭の日」の普及と推進
- ・「家庭の日」絵画・ポスターの募集と展示

4 青少年の自立心と社会性を育てる育成活動等の推進

「少年の主張茨城県大会」の開催

中学生が日頃考えていることを主張発表することにより、論理的に物事を考える力、社会に対する広い視野と柔軟な発想や創造性を身につけてもらうことをねらいとして県大会を開催する。

また、市町村における主張大会の開催を推進する。

- ・県大会 期日 平成24年9月29日(土)
場所 行方市文化会館大ホール
- ・平成24年度主張文応募状況
応募者総数 20,661名
応募中学校数 135校(32市町村)
県大会発表者 10名

5 市町村民会議、関係機関、PTA、関係団体等との連携強化

市町村民会議の活動が促進されるよう、市町村民会議の総会、各種会議、研修会等を通して情報の提供、助言を行う。

また、市町村民会議会長・事務局長等会議を開催し、県民運動の推進を図る。

市町村民会議訪問懇談会の開催

県民会議役職員が市町村民会議を訪問し、青少年育成活動の進め方等について関係者と意見交換を行い、県民運動の推進と市町村民会議の活動促進を図る。

市町村民会議会長・事務局長等会議の開催

市町村民会議等と連携を密にした県民運動を推進するため、会長、事務局長、事務局担当者、青少年行政担当者の会議を開催し、青少年健全育成事業の推進を図る。

6 非行防止・社会環境浄化の推進

青少年の非行防止や青少年を取り巻く社会環境の整備を図るため、関係機関団体等と連携した活動を行う。

非行防止・社会環境浄化推進活動

- ・薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」運動の推進と街頭キャンペーンへの参加
- ・未成年者喫煙防止街頭キャンペーンへの参加
- ・安全なまちづくりキャンペーンへの参加

青少年心理アドバイザーの派遣

心理学を専門としている大学の教授や講師、臨床心理士などの資格を有し、スクールカウンセラーとして活躍している青少年心理の専門家や青少年育成茨城県民会議に登録し、「青少年心理アドバイザー」として研修会等へ派遣する。

7 広報・啓発

青少年団体等顕彰

地域で優れた活動をしている青少年団体、育成者等を顕彰し、広く活動内容を周知する。

- 推薦期間 平成24年10月～12月
- 推薦団体等 ① 青少年団体・グループ
② 青少年
③ 青少年育成団体・グループ
④ 青少年育成指導者

機関紙「あけぼの」の発行

機関紙「あけぼの」を年2回発行

- ① 9月発行 市町村民会議の活動紹介等
- ② 3月発行 県民会議の活動紹介等